

## 反射テスト 2次方程式 逆算 01

1. 次の問に答えよ。(S級2分30秒, A級4分, B級6分, C級8分)

(1)  $x^2 + (a - 5)x - a - 2 = 0$  の解の1つが  $x = 7$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

(2)  $x^2 + ax + 4 = 0$  の解の1つが  $x = 3 + \sqrt{5}$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

2. 次の問に答えよ。(S級3分20秒, A級5分30秒, B級8分, C級10分)

(1)  $x^2 + (3 - a)x - a + 12 = 0$  の解の1つが  $x = -6$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

(2)  $x^2 + ax - 3 = 0$  の解の1つが  $x = 2 - \sqrt{7}$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

# 反射テスト 2次方程式 逆算 01 解答解説

1. 次の間に答えよ。(S級2分30秒, A級4分, B級6分, C級8分)

## ★ 方程式の解は代入

次のような問題では、わかっている解を代入するのが最初に考えることである。これは必ずできる方法だ。また、これは方程式の見直しを確実にする方法でもある。他の見直し方法も以下にあげておく。

★ 見直しは逆・別・概・再 ～ 数学の見直しは逆算・別解・概算・再計算の4通り。

(1)  $x^2 + (a-5)x - a - 2 = 0$  の解の1つが  $x = 7$  であるとき、 $a$  の値ともう1つの解を求めよ。

### ★ 解⇒代入

$$\begin{aligned} & 7^2 + (a-5) \times 7 - a - 2 = 0 \\ \Leftrightarrow & 49 + 7a - 35 - a - 2 = 0 \\ \Leftrightarrow & 6a + 12 = 0 \\ \Leftrightarrow & 6a = -12 \\ \Leftrightarrow & a = -2 \end{aligned}$$

元の2次方程式に  $a$  を代入して、 $x$  について解く。

$$\begin{aligned} & x^2 + (-2-5)x - (-2) - 2 = 0 \\ \Leftrightarrow & x^2 - 7x = 0 \\ \Leftrightarrow & x(x-7) = 0 \\ \Leftrightarrow & x = 0 \text{ または } x = 7 \end{aligned}$$

$$\therefore a = -2, \text{ もう1つの解は } x = 0$$

(2)  $x^2 + ax + 4 = 0$  の解の1つが  $x = 3 + \sqrt{5}$  であるとき、 $a$  の値ともう1つの解を求めよ。

### ★ 解⇒代入

$$\begin{aligned} & (3 + \sqrt{5})^2 + a(3 + \sqrt{5}) + 4 = 0 \\ \Leftrightarrow & 9 + 6\sqrt{5} + 5 + a(3 + \sqrt{5}) + 4 = 0 \\ \Leftrightarrow & (3 + \sqrt{5})a = -18 - 6\sqrt{5} \\ \Leftrightarrow & (3 + \sqrt{5})a = -6(3 + \sqrt{5}) \\ \Leftrightarrow & a = -6 \end{aligned}$$

元の2次方程式に  $a$  を代入して、 $x$  について解く。

$$x^2 - 6x + 4 = 0 \Leftrightarrow x = 3 \pm \sqrt{5}$$

$$\therefore a = -6, \text{ もう1つの解は } x = 3 - \sqrt{5}$$

☆注意 以下の方法は危険。

2次方程式の解の1つが、 $x = 3 + \sqrt{5}$  なので、もう1つの解を  $x = 3 - \sqrt{5}$  と予想してやっても答えはあう。この方法は解の公式からの経験則だが、たいていの場合うまくいくし、早い。★解と係数の関係をしていれば、 $a$  の値も一瞬である。しかし、2次方程式の係数に無理数が入ると答えがあわない。[2次方程式逆算 02](#) を参照。

2. 次の間に答えよ。(S級3分20秒, A級5分30秒, B級8分, C級10分)

★ 方程式の解は代入

次のような問題では, わかっている解を代入するのが最初に考えることである. これは必ずできる方法だ. また, これは方程式の見直しを確実にする方法でもある. 他の見直し方法も以下にあげておく.

★ 見直しは逆・別・概・再 ~ 数学の見直しは逆算・別解・概算・再計算の4通り.

(1)  $x^2 + (3-a)x - a + 12 = 0$  の解の1つが  $x = -6$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

★ 解⇒代入

$$\begin{aligned} & (-6)^2 + (3-a) \times (-6) - a + 12 = 0 \\ \Leftrightarrow & 36 - 18 + 6a - a + 12 = 0 \\ \Leftrightarrow & 5a + 30 = 0 \\ \Leftrightarrow & 5a = -30 \\ \Leftrightarrow & a = -6 \end{aligned}$$

元の2次方程式に  $a$  を代入して,  $x$  について解く.

$$\begin{aligned} & x^2 + \{3 - (-6)\}x - (-6) + 12 = 0 \\ \Leftrightarrow & x^2 + 9x + 18 = 0 \\ \Leftrightarrow & (x+6)(x+3) = 0 \\ \Leftrightarrow & x = -6 \text{ または } x = -3 \end{aligned}$$

$$\therefore a = -6, \text{ もう1つの解は } x = -3$$

(2)  $x^2 + ax - 3 = 0$  の解の1つが  $x = 2 - \sqrt{7}$  であるとき,  $a$  の値ともう1つの解を求めよ.

★ 解⇒代入

$$\begin{aligned} & (2 - \sqrt{7})^2 + a(2 - \sqrt{7}) - 3 = 0 \\ \Leftrightarrow & 4 - 4\sqrt{7} + 7 + a(2 - \sqrt{7}) - 3 = 0 \\ \Leftrightarrow & (2 - \sqrt{7})a = -8 + 4\sqrt{7} \\ \Leftrightarrow & (2 - \sqrt{7})a = -4(2 - \sqrt{7}) \\ \Leftrightarrow & a = -4 \end{aligned}$$

元の2次方程式に  $a$  を代入して,  $x$  について解く.

$$x^2 - 4x - 3 = 0 \quad \Leftrightarrow \quad x = 2 \pm \sqrt{7}$$

$$\therefore a = -4, \text{ もう1つの解は } x = 2 + \sqrt{7}$$